



## メディア ターミネーション ポイント の設定

メディア ターミネーション ポイント ソフトウェア デバイスを使用すると、Cisco Unified CallManager は、SIP または H.323 エンドポイントあるいは SIP または H.323 ゲートウェイ経由でルーティングされるコールをリレーできます。メディア ターミネーション ポイント デバイスは、DTMF または RSVP 要件に応じて割り当てることができます。RSVP 用にメディア ターミネーション ポイントを割り当てる場合は、SIP または H.323 デバイスなど、あらゆるタイプのエンドポイント デバイス間にメディア ターミネーション ポイントを挿入できます。

メディア ターミネーション ポイントは、ソフトウェアのインストール中にサーバにインストールされる Cisco ソフトウェア アプリケーションです。メディア ターミネーション ポイント デバイスを設定するサーバ上で Cisco IP Voice Media Streaming App サービスをアクティブにして開始する必要があります。サービスのアクティブ化と開始については、『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

データベースに定義されている各メディア ターミネーション ポイント デバイスは、Media Resource Manager (MRM; メディア リソース マネージャ) に登録されます。MRM は、システム内で使用可能なメディア ターミネーション ポイントの総数、および使用可能なリソースがあるデバイスを把握しています。

リソースの予約時に、MRM はリソース数を決定し、メディア リソース タイプ (この場合はメディア ターミネーション ポイント) および登録済みメディア ターミネーション ポイント デバイスのロケーションを特定します。MRM は、登録情報を使用して共有リソース テーブルを更新し、クラスター内の他の Cisco Unified CallManager に登録情報を伝搬します。

メディア ターミネーション ポイントとトランスコーダは、同一の Cisco Unified CallManager に登録できます。詳細については、P.58-1 の「トランスコーダの設定」を参照してください。

各メディア ターミネーション ポイントは、登録先の Cisco Unified CallManager を、優先順に並べたリストを受け取ります。各メディア ターミネーション ポイントが一度に登録できる Cisco Unified CallManager は 1 つのみです。



(注)

SIP エンドポイントの機能によっては、Cisco Unified CallManager で SIP コールを発信するときに、RFC 2833 DTMF 準拠のメディア ターミネーション ポイント デバイスが必要になることがあります。RSVP コールの場合は、エンドポイント デバイスに関連付けられた Media Resource Group List (MRGL; メディア リソース グループ リスト) に、RSVP をサポートするメディア ターミネーション ポイント デバイスを含める必要があります。

メディア ターミネーション ポイントを追加、更新、および削除するには、次のトピックを参照してください。

- [メディア ターミネーション ポイントの検索 \(P.54-2\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの設定 \(P.54-4\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの削除 \(P.54-6\)](#)
- [関連項目 \(P.54-7\)](#)

## メディア ターミネーション ポイントの検索

ネットワーク内にはいくつかのメディア ターミネーション ポイントが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のメディア ターミネーション ポイントを見つけることができます。メディア ターミネーション ポイントを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、メディア ターミネーション ポイントの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、メディア ターミネーション ポイントの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [メディアリソース] > [メディアターミネーションポイント] の順に選択します。

[メディアターミネーションポイントの検索と一覧表示 (Find and List Media Termination Points)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、メディア ターミネーション ポイントを検索します。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: メディアターミネーションポイント、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [名前]
- [説明]
- [デバイスプール]

2 番目の [検索対象: メディアターミネーションポイント、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空ではない]
- [が空である]

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。

**ヒント**

データベースに登録されているメディア ターミネーション ポイントをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

検出されたメディア ターミネーション ポイントのリストが、次の項目別に表示されます。

- メディア ターミネーション ポイントのアイコン
- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [ステータス (Status)]
- [IP アドレス (IP Address)]

**(注)**

該当するメディア ターミネーション ポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、**[選択項目の削除]** をクリックすると、[メディアターミネーションポイントの検索と一覧表示 (Find and List Media Termination Points)] ウィンドウから複数のメディア ターミネーション ポイントを削除できます。ウィンドウ内のメディア ターミネーション ポイントをすべて削除するには、**[すべてを選択]** をクリックし、**[選択項目の削除]** をクリックします。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致するメディアターミネーションポイントのアイコン、メディア ターミネーション ポイント名、説明、または関連するデバイスプールをクリックします。

選択したメディア ターミネーション ポイントがウィンドウに表示されます。

**追加情報**

P.54-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## メディア ターミネーション ポイントの設定

メディア ターミネーション ポイントを追加、コピー、または更新する手順は、次のとおりです。



(注)

この手順を実行するには、Cisco Unified CallManager のサービスアビリティ ページを使用して Cisco IP Voice Media Streaming App サービスをアクティブにする必要があります。サービスのアクティブ化については、『Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

### 始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。
- デバイス プールが設定済みであること。



(注)

Cisco Unified CallManager サーバごとに割り当てることができるメディア ターミネーション ポイント デバイスは 1 つのみです。Cisco Unified CallManager サーバを追加すると、メディア ターミネーション ポイント デバイスがサーバ用に自動的に作成されますが、そのデバイスは Cisco IP Voice Media Streaming App サービスがアクティブになるまで使用できません。

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかの作業を行います。

- メディア ターミネーション ポイントを追加するには、[メディアリソース] > [メディアターミネーションポイント] の順に選択します。[メディアターミネーションポイントの検索と一覧表示 (Find and List Media Termination Points)] ウィンドウが表示されます。[新規追加] をクリックします。
- メディア ターミネーション ポイントをコピーするには、[メディアリソース] > [メディアターミネーションポイント] の順に選択します。[メディアターミネーションポイントの検索と一覧表示 (Find and List Media Termination Points)] ウィンドウが表示されます。コピーするメディアターミネーションポイントの横にある [コピー] アイコンをクリックします。
- メディア ターミネーション ポイントを更新するには、P.54-2 の「メディア ターミネーションポイントの検索」の手順を使用して、メディア ターミネーション ポイントを見つけます。

**ステップ 2** 適切な設定値を入力します (表 54-1 を参照)。

**ステップ 3** [保存] をクリックします。

### 追加情報

P.54-7 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco IOS Media Termination Point の設定値

表 54-1 では、Cisco IOS Media Termination Point の設定値について説明します。

表 54-1 Cisco IOS Media Termination Point の設定値

フィールド	説明
[メディアターミネーションポイントタイプ (Media Termination Point Type)]	<p>[Cisco IOS Enhanced Software Media Termination Point] を選択します。</p> <p>このメディア ターミネーション ポイントのタイプに関する詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア ターミネーション ポイント」を参照してください。</p>
[メディアターミネーションポイント名 (Media Termination Point Name)]	<p>メディアターミネーションポイントの名前を最大 15 文字の英数字で入力します。</p> <p> <b>ヒント</b> ゲートウェイのコマンドライン インターフェイス (CLI) で既存の同じメディア ターミネーション ポイントの名前を入力してください。</p>
[説明 (Description)]	メディア ターミネーション ポイントの説明を入力します。
[デバイスプール]	使用している Cisco Unified CallManager グループの中で一番高い優先度をもつデバイス プールを選択するか、または [Default] を選択します。

### 追加情報

P.54-7 の「関連項目」を参照してください。

## メディア ターミネーション ポイントの削除

メディア ターミネーション ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

現在使用されている、メディア リソース グループ内の最後のデバイスであるメディア ターミネーション ポイントを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するメディア ターミネーション ポイントを使用しているメディア リソース グループに、別のメディア ターミネーション ポイントを割り当てる。P.59-7 の「[メディア リソース グループの削除](#)」を参照してください。
- 削除するメディア ターミネーション ポイントを使用しているメディア リソース グループを削除する。P.59-7 の「[メディア リソース グループの削除](#)」を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** P.54-2 の「[メディア ターミネーション ポイントの検索](#)」の手順を使用して、メディア ターミネーション ポイントを見つけます。

**ステップ 2** 削除するメディア ターミネーション ポイントをクリックします。

**ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。

次の警告メッセージが表示されます。

「1 つ以上のメディア ターミネーション ポイントを完全に削除しようとしています。この操作を取り消すことはできません。

続行しますか？」

**ステップ 4** [OK] をクリックして、メディア ターミネーション ポイントを削除します。

このメディア ターミネーション ポイントがメディア リソース グループ内の最後のデバイスである場合、メディア リソース グループは空のグループとして残ります。

**ステップ 5** [OK] をクリックします。

---

### 追加情報

P.54-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [メディア ターミネーション ポイントの検索 \(P.54-2\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの設定 \(P.54-4\)](#)
- [メディア ターミネーション ポイントの削除 \(P.54-6\)](#)
- [関連項目 \(P.54-7\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「トランスコーダ」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア ターミネーション ポイント」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Resource Reservation Protocol」

■ 関連項目